

市町村名	国頭村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	奥区地域づくり計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(7)-イ 交流と共創による農山漁村 の活性化		
担当部署名	企画商工観光課	事業実施 年度	平成 27	~	平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	年間を通じて奥地区ならではの自然や文化を活かしたツアープログラムを実施するため、具体的手法の確立及び実施体制の構築を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	総事業費	
	A. 予算現額	9,600	20,258	9,558		39,416	
	B. 執行済額	7,549	19,796	8,921		36,266	
	うち 交付金充当額	6,039	15,837	7,136		29,012	
	執行率(%) (B/A)	78.6%	97.7%	93.3%	#DIV/0!	92.0%	
	執行状況の説明	・最終的な執行率は92.0%であったが、不用額は入札残が影響したものであり、概ね計画的に執行できた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	資源調査の実施	目標	3回	-	-	-	-
		実績	3回	-	-	-	-
	振興手法の検討	目標	地域づくり計画の検討	-	-	-	-
		実績	活動目標・取組内容設定	-	-	-	-
	人づくり計画の作成	目標	地域づくり計画の検討	-	-	-	-
		実績	区民の体制づくり	-	-	-	-
	社会実験の計画の作成	目標	地域づくり計画の検討	-	-	-	-
		実績	ツアープログラムの決定	-	-	-	-
	資援ハード計画の作成	目標	地域づくり計画の検討	-	-	-	-
		実績	移植先の決定	-	-	-	-
	住民ワークショップの開催	目標	4回	-	-	-	-
		実績	4回	-	-	-	-
	コイの移植先水路測量設計の実施	目標	測量設計の実施	-	-	-	-
		実績	測量設計報告完了	-	-	-	-

	「地域づくりゆんたく会」の開催(3回)	目 標	—	3回	—	—	—
		実 績	—	5回	—	—	—
	ツアープログラムの社会実験(1回)	目 標	—	1回	—	—	—
		実 績	—	1回	—	—	—
	「コイ」の移植施設整備工事実施	目 標	—	工事実施	—	—	—
		実 績	—	工事実施	—	—	—
	「地域づくりゆんたく会」の開催(4回)	目 標	—	—	4回	—	—
		実 績	—	—	4回	—	—
	事業の具体化に向けた取組	目 標	—	—	具体化に向けた取組	—	—
		実 績	—	—	具体化に向けた取組 ・イベント3回 ・食に関する専門的研修 (試作会・ゆんたく会・講演会)	—	—
	3か年の事業を通じて得られた地域づくりにおける課題等を整理	目 標	—	—	課題等の整理	—	—
		実 績	—	—	課題等の整理 ・報告書及び地域づくりの手引き作成	—	—
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	地域づくり計画策定 (実績)地域づくり計画書策定により、自然環境を活かした地域づくりのモデル的な取り組みが期待され、地域の一体感が期待される。	目 標	地域づくり計画策定	—	—	—	—
		実 績	地域づくり計画策定	—	—	—	—
	コイの移植先水路工事にに向けた設計の完了 (実績)地域との話し合いの中で、移植先の場所変更に伴った設計で完了する。	目 標	設計完了	—	—	—	—
		実 績	設計完了	—	—	—	—
	社会実験の実施による報告書の作成	目 標	—	報告書の作成	—	—	—
		実 績	—	報告書の作成	—	—	—
	「コイ」の移植施設整備工事の完了	目 標	—	工事の完了	—	—	—
		実 績	—	工事の完了	—	—	—
	「地域づくりゆんたく会」の開催(4回)	目 標	—	—	4回	—	—
		実 績	—	—	4回	—	—
	ツアープログラムメニューの開発	目 標	—	—	メニュー開発	—	—
		実 績	—	—	メニュー開発 (4メニュー)	—	—

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成/進捗状況					
		H30年度	R1年度	R2年度		R3年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	目標	30人	70人	150人		272人以上
	イベント・ツアーへの参加者数	実績	21人	0人			
		目標					
		実績					
状況説明	【H30年度】 ・イベント・ツアーへの参加者数は21人となり、目標の30人を下回っている。 【R1年度】 ・イベント・ツアーの開催は無く参加者は0人である。 【 年度】 ・						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【H30年度】 ・イベント・ツアーへの参加者数が目標を下回ったことについては、イベント情報の発信時期に関する課題がある。 ・経験不足からくる準備の遅れも含め、受入側のキャパシティに不安がある。 【R1年度】 ・イベント・ツアーの開催に向けて関係者と調整していたが、調整途中で地域のリーダーが不在となり、イベント・ツアー開催に向けた気運が高まらず、イベント・ツアー自体が開催されなかった。 【 年度】 ・			【H30年度】 ・早めの計画設定を心掛け、余裕を持ってイベント情報を発信する必要がある。 ・関係者が情報を共有する機会や場を設定して、受け入れ態勢の強化を図る必要がある。 【R1年度】 ・地域のリーダー発掘や地域住民の気運醸成に向けた取り組みが必要である。 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【H30年度】 ・早めの計画設定や情報発信により、イベントへ参加しやすい雰囲気を作り、イベント参加者の増加につなげていく。 ・関係者の情報共有により、イベント等に向けた準備を効率よく行うことで、適正なキャパシティの把握やきめ細かな対応に努める。 【R1年度】 ・早急に地域住民の気運醸成に向けた話し合いの機会を持つことや、関係機関でイベント・ツアー開催に向けた具体的な取り組み(内容、スケジュール、役割分担等)について協議し、令和2年度中にイベント・ツアーを開催する。 【 年度】 ・							

市町村名		国頭村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	国頭らしい景観形成事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア 沖縄らしい風景づくり		
担当部署名	企画商工観光課	事業実施年度	平成28 ~ 平成30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	景観むらづくりガイドラインを作成するため、景観重点地区の検討、ワークショップの実施、景観条例の制定、景観審議会の開催を行い、自然や歴史等風景を生かした魅力的な観光地としての景観形成を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	5,962	5,166	5,928		17,056	
	B. 執行済額	5,767	4,860	5,184		15,811	
	うち 交付金充当額	4,613	3,888	4,147		12,648	
	執行率(%) (B/A)	96.7%	94.1%	87.4%	#DIV/0!	92.7%	
執行状況の説明	・最終的な執行率は92.7%であったが、不用額は入札残が影響したものであり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	景観計画策定基礎調査の実施 調査項目 ①基礎条件の整理	目標	基礎条件の整理	-	-	-	-
		実績	景観条件の整理	-	-	-	-
	②景観特性の分析・評価	目標	景観特性の分析・評価	-	-	-	-
		実績	景観特性の分析・評価	-	-	-	-
	③景観計画の方向性及び景観形成方針の検討	目標	景観計画の方向性及び景観形成方針の検討	-	-	-	-
		実績	景観計画の方向性及び景観形成方針の検討	-	-	-	-
	④景観誘導手法の検討(事例調査等)	目標	景観誘導手法の検討(事例調査等)	-	-	-	-
		実績	景観誘導手法の検討	-	-	-	-
	景観計画の作成	目標	-	景観計画を作成する	-	-	-
		実績	-	景観計画を作成した	-	-	-
	説明会又はパブリックコメントの実施	目標	-	説明会又はパブリックコメントを実施する	-	-	-
		実績	-	説明会の開催(2回)、パブリックコメントの実施(1回)	-	-	-
	委員会の開催	目標	-	委員会を開催する	-	-	-
実績		-	委員会の開催(4回)	-	-	-	

事業期間中の活動目標	景観行政コーディネーター県外研修参加	目標	-	派遣する	-	-	-	
		実績	-	派遣した	-	-	-	
	ガイドラインの作成	目標	-	-	ガイドラインの作成	-	-	
		実績	-	-	景観ガイドラインの作成	-	-	
	景観重点地区の検討	目標	-	-	景観重点地区を検討	-	-	
		実績	-	-	景観重点候補地区として辺戸地区を選定	-	-	
	ワークショップの実施	目標	-	-	ワークショップを実施	-	-	
		実績	-	-	ワークショップを開催(3回)	-	-	
	景観条例の制定	目標	-	-	景観条例を策定	-	-	
		実績	-	-	景観条例を制定した	-	-	
	景観審議会の開催	目標	-	-	景観審議会を開催	-	-	
		実績	-	-	景観審議会の開催なし	-	-	
	事業期間中の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
				H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
基礎調査報告書の策定		目標	基礎調査報告書の策定	-	-	-	-	
		実績	基礎調査報告書の策定	-	-	-	-	
国頭村景観計画の策定		目標	-	国頭村景観計画の策定	-	-	-	
		実績	-	国頭村景観計画の策定	-	-	-	
景観むらづくりガイドラインの作成完了		目標	-	-	ガイドラインの作成	-	-	
		実績	-	-	ガイドラインの作成完了	-	-	

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		R1年度				R1年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、観光客や村民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	80%以上	-	-	-	80%以上
		実績	82.0%	-	-	-	82.0%
	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	

【R1年度】
 ・村内2か所の観光案内所(やんばる3村観光連携拠点施設及び辺戸岬観光案内所)で、アンケート調査を実施して39名から回答を得た。39名の内訳は、県外22名、県内10名、村内7名。
 「魅力ある景観ですか」の問いに、魅力有り、やや魅力有りの回答が39名中32名の82%となり目標を達成した。

【 年度】
 ・

【 年度】
 ・

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【R1年度】 ・観光客などアンケート結果から見ると概ね魅力ある景観が形成されていると回答が得られている。また、住民への景観条例や届出等の手続きについては、パンフの配布やHPへ掲載等により周知しており、届出も20件を超えている。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>	<p>【R1年度】 ・引き続き魅力ある景観の維持に向けて、届出制度等の周知を図り、村民の意識向上に努める。また、必要に応じて集落単位の説明会を開催し、魅力ある景観について啓発を図って行く。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>
---	---

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R1年度】
 ・景観条例や届出制度について、ガイドブック等の活用により、丁寧に説明を行い、理解してもらえるように努める。また、屋外広告物等についても、村民へ周知を行い、景観に対する意識の向上に努める。

【 年度】
 ・

【 年度】
 ・

市町村名		国頭村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光拠点施設機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備		
担当部署名	企画商工観光課	事業実施年度	平成25 ~ 平成30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	イベント開催等の増加を図り、観光誘客につなげるため、膜張り屋根施設を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	34,841				34,841	
	B. 執行済額	34,841				34,841	
	うち 交付金充当額	27,872				27,872	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	当初は屋外屋根付施設の床面積を設置済み簡易テントを参考に80㎡で計画していたが、関係機関との調整により、当該床面積を280㎡へ計画変更したことから、委託料1,065千円及び工事請負費1,365千円を増額した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	屋外屋根付施設整備の実施 (実施設計、建築工事)	目標	実施設計、建築工事の実施	-	-	-	-
		実績	実施設計、建築工事実施	-	-	-	-
		目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	膜張り屋根施設の整備(実施設計、建築工事の完了)	目標	実施設計、建築工事の整備	-	-	-	-
		実績	実施設計、建築工事の整備完了	-	-	-	-
		目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度				R1年度 目標/発現年度
	膜張り屋根施設を活用したイベントの来場者数 6,204人以上	目 標	6,204人以上	-	-	-	6,204人以上
		実 績	7,160人	-	-	-	7,160人
		目 標	-	-	-	-	-
	実 績	-	-	-	-	-	
状況説明	【R1年度】 ・膜張り屋根施設を活用したイベントの来場者数は7,160人であり目標を達成した。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R1年度】 ・膜張り屋根施設の整備により、雨天の場合でも安心してイベント開催が可能になったことから、イベント数の増加に比例して来場者数も増加している。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			【R1年度】 ・来場者数は増加傾向にあるが、施設が活用可能であることやイベント開催の周知が不足しており、周知方法について検討する必要がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R1年度】 ・施設が活用可能であることやイベント開催についての周知を行政無線やチラシ等で行うことにより、さらなるイベント数の増加及び来場者数の増加につなげていく。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・							

市町村名	国頭村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	やんばるの森拠点施設活用推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
担当部署名	経済課		事業実施 年度	平成 29	平成 29	年度	
事業内容	やんばる国立公園指定に伴い、国頭村森林公園をやんばるの森の拠点施設として活用するため、公園のニーズ及び課題を調査し、管理運営の手法等を検討する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	総事業費	
	A. 予算現額	5,400				5,400	
	B. 執行済額	5,314				5,314	
	うち 交付金充当額	4,250				4,250	
	執行率(%) (B/A)	98.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.4%	
執行状況の説明	・執行率は98.4%であり、計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	顧客ニーズの把握	目標	顧客ニーズを把握する	-	-	-	-
		実績	顧客ニーズを把握した	-	-	-	-
	施設の課題調査	目標	課題調査を実施する	-	-	-	-
		実績	課題調査を実施した	-	-	-	-
	施設の管理運営方法の提案	目標	運営方法を提案する	-	-	-	-
実績		運営方法の提案した	-	-	-	-	
今後の施設整備の概略予算の算定	目標	概略予算を算定する	-	-	-	-	
	実績	概略予算の算定をした	-	-	-	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	施設の現状、課題の把握	目標	現状、課題を把握する	-	-	-	-
		実績	現状、課題を把握した	-	-	-	-
ニーズを把握し、施設の管理運営方針の策定	目標	策定する	-	-	-	-	
	実績	策定した	-	-	-	-	

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R3年度 目標/発現年度	
	国頭村森林公園の来場者数		目標	21,000	22,000	23,000	24,317人以上	24,317人以上
			実績	19,965	17,203	—	—	—
状況説明		【H30年度】 ・来場者数は19,965人となり目標を下回っている。 【R1年度】 ・来場者数は17,203人となり目標を下回っている。 【 年度】 ・						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【H30年度】 ・来場者数が目標を下回ったことについては、台風被害による施設休館日の日数増加や施設の周知不足が主な要因である。 【R1年度】 ・パンフレット更新の実施や、施設(おもちゃ美術館)のプロモーションビデオを作成しホームページ、道の駅にて放映を行い周知を図ったが、来場者数が目標に達しなかった。 【 年度】 ・			【H30年度】 ・施設修繕等の計画的な実施やホームページ及びパンフレット等の配布により、施設の認知度向上や魅力の発信に努める必要がある。 【R1年度】 ・集客にはこれまで以上の認知度向上等が必要なため、H30年度同様にパンフレット配布方法や作成したプロモーションビデオ放映を行いつつ、他事業等を活用するなどこれまで以上に周知がなされるよう方法の検討、実施する必要がある。 【 年度】 ・					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【H30年度】 ・老朽化施設の修繕を計画的に行い安全な施設環境の維持管理に努める。また、パンフレットの更新を実施して、道の駅等への配布を強化することにより観光客の認知度を向上させ誘客を図るとともに、施設のプロモーションビデオを作成しホームページや観光案内所で放映することにより施設の魅力発信や認知度向上に取り組む。 【R1年度】 ・引き続き老朽化施設の修繕を計画的に行い、安全な施設環境の維持管理に努める。また、周知においてもH30年度に行った取り組みを引き続き行いつつ、木材普及活動(木育キャラバン)等を活用し観光客のみならず県民にも周知し、これまで以上に施設の魅力発信や認知度向上に取り組む。 【 年度】 ・								

市町村名 **国頭村**

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	国頭村観光危機管理計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備
	担当部課名	企画商工観光課	事業実施年度	平成30 ~ 平成30年度	沖縄振興基本方針 該当箇所

事業内容
災害時における観光客の安全確保を図るため、委員会の開催、観光危機管理体制の検討、観光業や宿泊業を対象にした勉強会の実施、災害時を想定した対応訓練を行い、国頭村観光危機管理計画を策定する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計
	A. 予算現額		9,540			
B. 執行済額		8,824				8,824
うち 交付金充当額		7,058				7,058
執行率(%) (B/A)		92.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	92.5%
執行状況の説明	当初予定していた委員会を4回から3回に変更したための△129千円の改定契約を行った。不要額716千円は指名型簡易プロポーザルによる委託積算の審査によるものである。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
観光危機管理計画の策定(委員会開催4回)	目標	委員会開催4回	-	-	-	-
	実績	委員会開催3回	-	-	-	-
観光危機管理体制の検討	目標	観光危機管理体制の検討	-	-	-	-
	実績	観光危機管理体制の検討実施	-	-	-	-
勉強会の実施(2回)	目標	勉強会2回	-	-	-	-
	実績	勉強会2回	-	-	-	-
対応訓練の実施(1回)	目標	対応訓練1回	-	-	-	-
	実績	対応訓練1回	-	-	-	-

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
国頭村観光危機管理計画の策定完了	目標	策定完了	-	-	-	-
	実績	策定完了	-	-	-	-
	目標	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-
	目標	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
			R1年度			R1年度 目標/発現年度
		策定した観光危機管理計画を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、当該計画について検証する。	目標	1回以上	-	-
	実績	0回	-	-	-	0回
	目標	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-
状況説明	【R1年度】 ・関係機関と調整して、令和2年3月に避難訓練を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、避難訓練の実施を見送った。					
	【 年度】					
	【 年度】					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【R1年度】 ・避難訓練の実施は見送ることにしたが、令和2年2月に開催した観光事業者との意見交換会で観光危機管理計画を説明する機会を設けたことから、災害時の連絡体制の周知や避難場所を確認することができた。</p> <p>【 年度】</p> <p>【 年度】</p>	<p>【R1年度】 ・災害時の連絡体制の周知や避難場所の確認だけでなく、災害を想定した実践的な取り組みが必要である。</p> <p>【 年度】</p> <p>【 年度】</p>
---	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R1年度】 ・令和2年度は避難訓練を実施することで、災害に対する意識付けを行うとともに、被災したときに迅速に確実に行動できるように備える。</p> <p>【 年度】</p> <p>【 年度】</p>

市町村名 **国頭村**

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	国頭村減災地域社会形成事業			沖繩21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災 体制の強化
	担当部署名	総務課	事業実施 年度	平成 24 ~ 平成 30 年度	沖繩振興基本方針 該当箇所

事業内容 災害時において村民及び観光客等の安全を確保するため、各種計画等を作成する。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】	～H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
	A. 予算現額	27,372	8,929	7,128	6,480
B. 執行済額	24,747	8,856	7,128	6,480	47,211
うち 交付金充当額	19,796	7,084	5,702	5,184	37,766
執行率(%) (B/A)	90.4%	99.2%	100.0%	100.0%	94.6%
執行状況の説明	・最終的な執行率は94.6%であったが、不用額は入札残が影響したものであり、概ね計画的に執行できた。				

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
災害対応マニュアルの検討	目標	マニュアル作成	-	-	-	-
	実績	マニュアル作成	-	-	-	-
集落別の課題抽出	目標	3集落	-	-	-	-
	実績	2集落	-	-	-	-
「業務継続計画」の作成	目標	-	業務継続計画の作成	-	-	-
	実績	-	業務継続計画の作成	-	-	-
①「津波避難計画」の作成	目標	-	-	「津波避難計画」の作成	-	-
	実績	-	-	津波避難計画の作成	-	-
②「庁内防災訓練実施計画」の作成	目標	-	-	「庁内防災訓練実施計画」の作成	-	-
	実績	-	-	庁内防災訓練実施計画の作成	-	-
③防災アンケートの実施(2400世帯)	目標	-	-	2,400世帯	-	-
	実績	-	-	防災アンケートの実施(516回収)	-	-
④災害事前危険度評価の更新	目標	-	-	災害事前危険度評価の更新	-	-
	実績	-	-	災害時事前危険度評価の更新	-	-
「防災マップ」の改定	目標	-	-	-	改定する	-
	実績	-	-	-	改定した	-
「防災マニュアル」の改定	目標	-	-	-	改定する	-
	実績	-	-	-	改定した	-

事業期間中の活動目標	防災マニュアル(BCP)の改定の更新	目標	-	-	-	-	更新
		実績	-	-	-	-	更新完了
	集落別減災計画の作成(3集落)	目標	-	3集落	3集落	作成する(3集落)	3集落
		実績	-	3集落	3集落	作成した(3集落)	3集落
事業期間中の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	災害対応マニュアルの作成	目標	マニュアル作成	-	-	-	-
		実績	マニュアル作成	-	-	-	-
	集落別の課題整理:3集落	目標	3集落	-	-	-	-
		実績	2集落	-	-	-	-
	「業務継続計画」を作成することで、被災時の行政機能喪失の軽減を可能とする。	目標	-	業務継続計画作成	-	-	-
		実績	-	業務継続計画作成	-	-	-
	「集落別減災計画」を作成することで、作成地域における災害時要支援者の把握、地域単独での避難訓練の実施が可能となる。	目標	-	3集落	-	-	-
		実績	-	3集落	-	-	-
	①「津波避難計画」の策定完了	目標	-	-	策定完了	-	-
		実績	-	-	策定完了	-	-
	②「庁内防災訓練実施計画」の策定完了	目標	-	-	策定完了	-	-
		実績	-	-	策定完了	-	-
	③「防災アンケート」集計・まとめ完了	目標	-	-	集計・まとめ完了	-	-
		実績	-	-	集計・まとめ完了	-	-
	④災害時事前危険度評価の更新完了	目標	-	-	更新完了	-	-
		実績	-	-	更新完了	-	-
	⑤「集落別減災計画」の作成完了(3集落)	目標	-	-	作成完了(3集落)	-	-
		実績	-	-	作成完了(3集落)	-	-
	「防災マップ」の改定完了	目標	-	-	-	改定完了	-
		実績	-	-	-	改定完了	-
	「防災マニュアル」の改定完了	目標	-	-	-	改定完了	-
		実績	-	-	-	改定完了	-
	「集落別減災計画」を作成した集落カバー率:60%	目標	-	-	-	60%	-
		実績	-	-	-	60%	-
	「防災マニュアル(BCPマニュアル)」の改定完了	目標	-	-	-	-	改定完了
		実績	-	-	-	-	改定完了
	「集落別減災計画」を作成した集落カバー率:75%	目標	-	-	-	-	75%
		実績	-	-	-	-	75%

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		R1年度				R1年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	整備した防災マニュアル及び集落別減災計画を活用した避難訓練(10回以上/年)を実施することにより、マニュアル・計画のあり方について検証する。	目標	10回以上	-	-	-	10回以上
		実績	14回	-	-	-	14回
		目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-

状況説明	【R1年度】 ・避難訓練実施状況は、14回(14団体)となり目標を達成している。
	【 年度】 ・
	【 年度】 ・

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

【R1年度】 ・令和元年度の避難訓練実施件数は14団体となり目標を達成した。要因として、各区長へ避難訓練参加依頼時にその重要性や過去の参加状況等も併せて伝えたことで関心を持って頂けた。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・	【R1年度】 ・各区長へ防災力向上に向けた説明、調整等をこれまで行ってきたが、住民に対しての周知等が不足していた。今後は、住民に対しての周知活動も積極的に行い防災に関心を持ってもらえるような取り組みが必要である。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・
---	---

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R1年度】 ・避難訓練への参加人数を増やすため、子どもからお年寄りまでが理解できるような工夫したチラシの配布や防災備蓄食の配布を行い防災に興味を持ってもらう。 参考指標: R元年度 494人 【 年度】 ・ 【 年度】 ・
--

市町村名	国頭村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	消防救助艇及び資機材搬送車整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災 体制の強化		
担当部署名	総務課	事業実施 年度	平成 30	平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所		
事業内容	水難事故等における住民や観光客等の安全の確保を図るため、救助艇・牽引車両等を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	6,283				6,283	
	B. 執行済額	6,283				6,283	
	うち 交付金充当額	5,026				5,026	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	・執行率は100%であり、計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	消防救助艇及び資機材搬送車の整備 消防救助艇 1台 資機材搬送車 1台		目標 消防救助艇 1台 資機材搬送車 1台	-	-	-	-
			実績 消防救助艇 1台 資機材搬送車 1台	-	-	-	-
			目標	-	-	-	-
			実績	-	-	-	-
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	消防救助艇及び資機材搬送車の配備 (国頭地区行政事務組合消防本部) 消防救助艇 1台 資機材搬送車 1台		目標 消防救助艇 1台 資機材搬送車 1台	-	-	-	-
			実績 消防救助艇 1台 資機材搬送車 1台	-	-	-	-
			目標	-	-	-	-
			実績	-	-	-	-

事業完了後の取り組み

事業完了後の取り組み	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
			R1年度			R1年度 目標/発現年度
		水難救助訓練(1回/月)を実施することにより、消防救助艇及び資機材搬送車の活用のあり方について検証する。	目標	1回/月	-	-
	実績	1.75/月	-	-	-	1.75/月
	目標	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-

事業完了後の成果目標 状況説明	【R1年度】 ・水難救助訓練実施状況は、1.75/月となり目標を達成している。
	【 年度】 ・
	【 年度】 ・

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【R1年度】 消防救助艇・資機材搬送車を導入したことにより、水難救助現場において隊員が迅速に乗船し、救助資機材を有効活用した安全・確実な水難救助活動が展開できる。消防救助艇等の導入後は、出動及び訓練後に塩害の影響を受けた消防救助艇・資機材搬送車の点検を行い、常に災害時に備えて出動できる体制を維持しなければならない。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>	<p>【R1年度】 ・消防救助艇及び資機材搬送車の維持管理体制を徹底させ、安全・迅速に出動体制を確保する必要がある。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>
---	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R1年度】 ・消防救助艇及び資機材搬送車を活用した訓練の充実と水難救助活動の強化に取り組み、村民や国内及び国外からレジャーで訪れた人々に安心・安全を与える地域を目指す。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>
--